

子ども:本の感想文より

おんせい 4年生



- 私は将来弁護士になりたいので、すごく勉強になりました。(「こども六法」)
- 政治には細かいルールがたくさんあるのだなと思いました。(「ドラえもん社会ワールド政治のしくみ」)
- 「空に一番近い駅」にぼくも行ってみたいと思いました。(「オニすご!とんでもねー!ニッポンびっくり事典」)
- 宇宙の全容は明かされていませんが、情報がでたらすぐに調べたいと思いました。(「宇宙探検大百科」)
- お父さんとお母さんの気持ちを考えたら、子育ては大変だなと思いました。(「あたしおねえちゃんのだ」)

お家の方:ファミリー読書の感想より

- 低学年からファミリー読書をしていますが、子どもの感想から成長を感じる事ができ嬉しく思います。
- GW中にゲームをしない日を決めて家族で読書に取り組んでみてよかったなと感じました。
- 同じ本を読むと親と子での感想が違うので、新たな発見ができました。
- 子どもは自分が好きな本を集めて読んで、私より早く読み終わるのに驚きました。
- 姉と弟で、物語のどこのシーンで感情が動くかというのを一緒に話し合うことができました。
- 毎回貴重な時間をありがとうございます。本を読んで感じたこと、思ったことを伝える力をもっとつけていってほしいと思いました。

子ども:本の感想文より

おんせい 6年生

- この本の主人公は家でも学校でもいつも怒られています。ぼくも怒られることが多いので、主人公の気持ちがとても分かります。(「おこだでませんように」)
- この本を読んで時間の使い方を上手にしていこうと思いました。

(「すみっこぐらしの時間の使い方が上手になる方法」)

- この広島原爆の物語を読んで、少しづつ気持ちになりました。(「たすねびと」)
- 人見さんのように、ぼくもあきらめないで挑戦していきたいと思いました。(「人見絹絵」)
- たくさんの難問を乗り越えてきたオリンピック選手はすごいと思いました。

(「ほんとうにあったオリンピックストーリー」)

- お金は無駄遣いすると返ってこないことがわかり、あらためてお金を大事にしていこうと思いました。(「ドラえもん社会ワールドお金のひみつ」)



お家の方:ファミリー読書の感想より

- 子どもと一緒に何かをすることも少なくなってきていたので、一緒に本を読む時間が楽しかったです。
- 弟と一緒に読んで、それぞれの感想や考えが聞けてよかったです。
- 6年生なので、ただ読むのではなく「作者は何が言いたいのか」を考へるように話し合いました。
- 親世代でも本を手に入る機会が減っているので、よい企画だと思います。
- 「どの本を読もうか?」と子どもと一緒に本を選ぶこともよい時間だと感じました。
- 同じ本を読むと、親が思っているよりも子どもはいろいろなことを考へているのだなと感心させられました。
- 我が家では、読書が定着しました。時間があつたときには少しでも読み進めます。ファミリー読書の取り組み、本当にありがたいです。



今回ご紹介した感想文のほかにも、素晴らしい感想をたくさんいただきました。子ども達は、本を読んで感じたことや自分の思いを、しっかり文章で書いてくれました。お家の方には、ファミリー読書を通して深まった子どもとの絆や、成長を感じることができたエピソードを、たくさんお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。ぜひこれからも家族でファミリー読書を楽しんでみてください!



子ども:本の感想文より

おんせい 5年生



- 何にも負けない強い心を持ちたいと思いました。(「雨にも負けず」)
- 守護霊の謎が解けてまた家族が再会できたことに感動しました。(「しゅご☆れい探偵」)
- みにくいあひるの子のどこのシーンが醜いのか不思議に思いました。(「みにくいあひるの子」)
- 人を助けることに一生捧げたマザー・テレサを見習いたいと思いました。(「マザー・テレサ」)
- 昔は家庭で氷を作ることができなかつたことを知り、これからは大切にしようと思いました。(「氷のひみつ」)

- 私は、ねずみくんが小さいからといって笑いものにするのはかわいそうだと思います。(「ねずみくんのクリスマス」)

お家の方:ファミリー読書の感想より

- 日頃ゆつくりと読書をするということができないので、とてもよい時間を過ごすことができました。
- 一緒に本を読むことで集中でき、気持ちをリラックスさせることができました。
- 子どもと興味のある本の話をする事ができ、楽しかったです。
- 本を読んで感想を言葉にするのが昔から苦手な子でしたが、今回はすぐに書くことができていて、成長を感じました。
- 最近自分の部屋で過ごすことが多くなった子どもと、読書しながら一緒に過ごせたことが嬉しかったです。
- 二人で同じ本を読んでみて、子どもがどんな考へをしているのかを理解するよい機会となりました。
- 毎回この企画が楽しみです。次回は何の本を読もうか今から子どもと考へています。